

奥村大作教授 主要業績

奥村大作教授 主要業績

【著書（共著）】

- 『現代政治学の構想と動態』一九七九年三月、南窓社。
『基本マスター 政治学』一九八〇年七月、法学書院。
『政治学の構造』一九八一年三月、南窓社。
『啓蒙政治思想の形成』一九八四年三月、成文堂。
『現代政治の基本知識』一九八五年四月、北樹出版。
『現代に語りかける政治思想史』一九八七年三月、昭和堂。
『政治学入門』一九八八年四月、北樹出版。
『現代政治へのアプローチ』一九九六年四月、北樹出版。
『現代政治の解明』一九九六年五月、北樹出版。
『現代政治へのアプローチ——増補版』一九九八年四月、北樹出版。

【論文】

「レイモン・アロン——国防とヨーロッパ統合」『防衛論集』第九巻第二号、一九七〇年三月。

「ケネス・ターヒュン——国民性から国民行動へ」『防衛論集』第九巻第三号、一九七〇年四月。

「Thomas Hobbes における認識論と政治理論」『防衛大学校紀要』第三〇輯、一九七五年三月。

「Machiavelli における政治的行動の構造」『防衛大学校紀要』第三二輯、一九七五年九月。

「The Concept of Authority」『政経研究』第二号、一九七五年九月。

「政治と道德——マキアヴェリの場合」『道德と教育』第二四五号、一九八四年八月。

「ホッブズにおける自然法の位置」『法学紀要』第三九巻、一九九八年三月。

「ハンナ・アーレントと政治哲学の伝統」『法学紀要』第四一巻、二〇〇〇年三月。

「プラトンにおける『ソクラテス問題』——政治哲学のアルケー（政治論的側面）」『法学紀要』第四三巻、二〇〇二年三月。

「プラトンの『国家』における戦争の問題」『政経研究』第三九巻第四号、二〇〇三年三月。

「プラトンにおける『ソクラテス問題』——政治哲学のアルケー（知識論的側面）」『法学紀要』第四五巻、二〇〇四年三月。

「プラトンの『ゴルギアス』における政治理論」『法学紀要』第四八巻、二〇〇七年三月。

「『プロタゴラス』——プラトンのメタモルフォーシス」『日本大学法学部創設一二〇周年記念論文集』第二巻、二〇〇九年一〇月。

【資料】

「昭和四八・四九年度軍事史研究の動向と主要文献目録——西洋史関係」『軍事史学』第十一卷第二号、一九七五年九月。

【学会活動】

討論「分科会F 社会契約説と現代」一九九二年度日本政治学会研究会、一九九二年一〇月。
司会「分科会A 保守主義の再検討」一九九四年度日本政治学会研究会、一九九四年一〇月。
発表「プラトンと旅」総合観光学会第一九回全国学術研究大会、二〇一〇年一二月。
発表「ルソーと放浪」総合観光学会第二一回全国学術研究大会、二〇一一年一月。
発表「ホップズとグラント・ツアー」総合観光学会第二二回全国学術研究大会、二〇一二年六月。

【翻訳（共訳）】

マイケル・ハワード『ヨーロッパ史と戦争』一九八一年五月、学陽書房。
マイケル・ハワード『戦争と知識人』一九八二年九月、原書房。
マイケル・オークショット『保守的であること』一九八八年九月、昭和堂。
エリ・ケドゥーリー『ナシヨナリズム』二〇〇〇年七月、学文社。
エリ・ケドゥーリー『ナシヨナリズム（第二版）』二〇〇三年九月、学文社。
マイケル・ハワード『ヨーロッパ史における戦争（改訂版）』二〇一〇年五月、中央公論新社。